

令和3年度 第1回公立鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 令和3年6月21日(月) 10:00～11:30
- 場 所 多目的ホール (Webexによるオンライン会議)
- 出席者 江崎信芳委員、宇佐美誠委員、片木威委員、田中仁成委員、田村文男委員
今井正和委員、遠藤由美子委員、小林朋道委員、矢野順治委員、
[9名/11名]
- 欠席者 足羽英樹委員、尾室高志委員

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 令和3年度新型コロナウイルス感染症対策の概況

事務局から、令和3年度新型コロナウイルス感染症対策の概況について報告があった。

3 審議事項

(1) 令和2年度事業に係る業務実績報告書について

事務局から、令和2年度事業に係る業務実績報告書について説明があり、原案について承認された。

〈主な意見等〉

- ・ 県内就職率について、学生の県内出身率が低い中で「30%」という目標は非常に厳しいように感じ、目標と実状の乖離があるのではないかと懸念。引き続き地元就職について、積極的なアプローチを続けてほしい。

→ (回答) : 就職支援センターを中心に 30%の目標に向けてシュミレーションをしているが、コロナ等の想定外な事が起きている。どのような状況下でも目標達成に近づけるように、低学年からのインターンシップ、地元企業のPRなど力を入れていく。

- ・ コロナ要因の中で、様々な率が低下することは仕方がない面がある。
- ・ 競争的外部資金の部分で評価が良くない点について、科学研究費の新規申請数低下が要因として挙げられているが、その他の外部資金の状況が良ければ評価は良くなるのではないかと懸念。また、申請数と採択率は区別すべきではないかと懸念。採択率はある意味「運」の要素があるが、申請数は各教員の努力で増やすことができる。今後、教員に向けてどのようなインセンティブを付けるのかも重要ではないかと懸念。

→ (回答) : 研究の活性化は大学としても重要性を感じている。外部の研究費申請サポートアドバイス(有料)を受けるようなシステムを昨年度から取り入れた。システムを利用した教員からの評価が良かったため、今年度は広く教員へ呼びかけていく。

(2) 公立鳥取環境大学大学院履修規則の一部改正について

事務局から、公立鳥取環境大学大学院履修規則の一部改正について説明があり、原案について承認された。

〈主な意見等〉

- ・学生が履修するときにある程度、履修計画が立てられるように、カリキュラムマップのようなものがあると良いのではないか。
→（回答）：人数が少ないという利点を生かし、現時点では担当教員と学生と一緒に履修科目を決め、修士論文に向け方向性を決定している。

4 報告事項

- (1) 大学機関別認証評価の結果について
事務局から、大学機関別認証評価の結果について報告があった。
- (2) 開学 20 周年記念事業の実施について
事務局から、開学 20 周年記念事業について報告があった。
- (3) 令和 3 年度第 1 回補正予算（案）について
事務局から、令和 3 年度第 1 回補正予算（案）について報告があった。
- (4) 令和 2 年度決算について
事務局から、令和 2 年度決算について報告があった。
- (5) 令和 3 年度に実施する法人評価（中間評価）について
事務局から、令和 3 年度に実施する法人評価（中間評価）について報告があった。
- (6) 令和 3 年度専任教員の昇任について
事務局から、令和 3 年度専任教員の昇任について報告があった。
- (7) 公立鳥取環境大学学長の再任審査について
事務局から、公立鳥取環境大学学長の再任審査について報告があった。
- (8) 近況報告
事務局から、就職活動状況、入試実施状況等について近況報告があった。

5 その他

- (1) 新型コロナウイルスワクチンの職域接種について
事務局から、新型コロナウイルスワクチンの職域接種について報告があった。

6 閉会